

経営危機に直面している半導体大手エルピーダメモリ。同社の坂本幸雄社長が資金繰りに東奔西走する姿は、しばしばテレビや活字メディアなどで取り上げられていたこともあってか、19日に産業再生法の適用を申請し、最大300億円の出資を受け入れる方向で最終調整に入っていることが報じられると、投資家などの関心が一気に高まった。

企業価値検索サービス

ユレット  
アクセス上昇  
ランキング

(6月15~19日)

## エルピーダメモリ

## 産業再生法認定第1号報道

注目されたのは、1700億円にのぼるエルピーダの赤字体質とか、産業再生法認定第1号になるということではなく、投資家の興味は公的資金の使い道に向かったようだ。

「エルピーダの悪材料は出尽くしていたから、注入される公的資金が、再建のためにどう活用されるか知りた」というムードがありました。同社は半導体DRAM專業で世界3位ですし、いくら業績

が悪いつても半導体事業は必要不可欠ですから、立ち直れるという期待が潜在的に大きい。その結果、公的資金注入を前向きに受け止めたとみられます」（証券関係者）

実際に、この日の同社株価は3%以上値上がりした。ちよつとしたハプニングもあつた。この出資報道で二階経産相が情報元ではないかとウワサされたこと。結局、違つたが、アクセス数増加に寄与した可能性がある。

	銘柄	取引所	株価(円)
1	アーネストワン	東証1部	321
2	凸版印刷	東証1部	883
3	エルピーダメモリ	東証1部	1069
4	安楽亭	東証2部	410
5	トヨタ自動車	東証1部	3690

\*19日終値。http://www.ullet.com

ユレット 上場企業4000社の決算書を複数年にわたってデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。